

病院におけるその他の環境等を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労働 者規 模
1	8～9	職員駐車場に車を止め、職員玄関に向かう途中、正面玄関前にて氷に足を滑らせ仰向け状態に転倒し、頭部を強打する。その他に尻を強打しており、当日に痛みはなかったが、翌日に腰部痛が発生し、尾骨骨折だと分かった。	56	100 ～ 299
1	18～ 19	帰宅のため職員玄関を出て歩行し、4m時点で右足から滑り、バランスを崩し転倒し、臀部を強く打ち仰臥位に倒れた。しばらく（3分位）動けず倒れていたが、何とか自立で起き上がり歩行して帰宅した。地面の状況は、暖気で水たまりの下がアイスバーンの状態であった。そのあと自宅に戻り、痛みで動けなくなった。	46	—
1	8～9	職員玄関まで歩いている途中、病院建物1Fの連絡通路が凍っていて気をつけて歩こうと思い、右足を出したときに滑って体が浮いた様になり、右側から落ちて地面に叩きつけられ、骨折した。	58	100 ～ 299
1	9～ 10	駐車場に車を止めて病院敷地内を歩いていたら、地面が凍結していて滑って膝について受傷した。	60	
2	8～9	公用車駐車場にて運行前に公用車の上に積もった雪を払った後、病院の正面玄関へ向かう途中、敷地内の道路（ロータリー）の凍っていたところに足を滑らせてしまった。その際、右足がスーッと滑り伸びた状態になり、左膝に体重がかかり曲がった時にバキッと音がした。（左膝は道路に打ちつけていない。）この時、同時に痛みもはしたため、病院を受診した。レントゲン撮影の結果、骨折していた。	68	300 ～ 499
2	11～12	病院敷地内の喫煙所から病院裏側の細道を通り食堂へ行く途中（昼休み中）、雪で傾斜になっていた凍結した路面で滑り、後方に転倒し臀部を強打した。	38	500 ～ 999

2	7~8	自室にて利用者様をベッドからリクライニング車椅子へ移乗していた際、自力で身体を動かすことが出来ない状態である利用者様であった為、持ち上げる動作が必要であった。非常後右肩甲骨下方にピリッと痛みが発生する。	60	300 ～ 499
3	8~9	駐車場内を歩行中、アスファルトが凍結しており、足を滑らせ後方に転倒し、左肘を強打した。疼痛はあるが業務を実施していたところ、徐々に疼痛が悪化し業務継続が不能となる。	48	100 ～ 299
4	23~24	院内6病棟室内にて就寝中の患者様（男性高齢、理解度は低く意思の疎通が難しい、感情の起伏は激しい）のオムツ交換を行っていた。その際に突然対象者の正面から右前腕を掴まれ、上方にねじりあげられた。離そうと手を振るが力が強いため離れず、声を発し、他の職員と2名がかりで振りほどいた際、掴まれた右肩を痛めた。	51	500 ～ 999
4	13~14	病室にて口腔ケアを介助施行中、認知症があり絶食点滴中の患者様に対し、口頭で開口を促し口を開けてもらったところに手袋をつけ、右手第2指にガーゼを巻いた手で口腔粘膜清掃をしようとした際に噛みつかれた。	34	100 ～ 299
6	19~20	病棟の看護室で申し送り中に、患者家族から声がかかり、後程対応すると返答した。その態度が悪いと、1時間以上廊下（病室前）で怒号があり、謝罪しても許しを得られず、大声で怒鳴るなど言葉の暴力があり、強い精神的ダメージを受け、心身疲労状態で休養している。	29	1000 ～ 9999
6	14~15	3病棟ホールにて、興奮状態の男性患者が歩行器で突進してきたため、両手で歩行器を止めたところ、左顔面を殴打され、おそらく数秒程意識を失った。左顔面は腫れたが、クーリングにて当日中には改善するも、翌日、殴打されたのとは反対の右側の頭痛、右上半身痛が起こり、痛み止めを内服し様子をみていたが改善せず、骨折と判明した。	42	100 ～ 299
7	13~14	病室で女性48kgをリクライニング車椅子からベッドへ移乗する作業中、2人で中腰になって抱えていて、背中から足の先まで電気が走った。私は上半身を抱え、同僚が下半身を抱えていた。	29	300 ～ 499
9	9~	病室のベットで患者の体位交換を二人で行っている時に、中腰でシートを持って患者を手前に押した際に腰に負荷がかかり、鈍い音と共に痛みが出たものであ	28	300 ～

	10	る。		499
10	13～ 14	検温のため、ベッドで寝ている患者の足元から近付いた際、患者に右手の甲を蹴られた。	70	100 ～ 299
11	11～ 12	南病棟廊下で尿測に行こうと廊下を歩行中、前を歩いていた看護師が急に振り向き、ぶつかり被災者だけが転倒した。	56	100 ～ 299
12	17～18	帰宅途中、職場敷地内を歩いていたところ、雪の塊につまずき足を滑らせて転倒した。転倒の際、うつ伏せに近い状態で右肩と右腕を強く打った。当番病院を受診したところ、骨折と診断された。	64	—
12	7～8	職員駐車場で車から降りた際に氷に滑ってしまい転倒し、左膝半月板損傷となった。	39	500 ～ 999
12	2～3	院内5病棟病室にて、体位交換の実施時、前傾姿勢で患者の体位交換をしている際に、本来であれば2名で行う体位交換を1名でしていたため、思うように力が入らず左胸部を痛めた（左肋骨骨折）。	42	500 ～ 999
12	14～15	重度認知症デイケア内にて、調子の悪い男性利用者が、声をかけた女性利用者の方へ向かわれたため、他のスタッフと一緒に声をかけながら間に入ると、急に立腹し、股間を3回程蹴られたため、他のスタッフと対応を代わった。蹴られた箇所は、以前から痛みのような違和感があったが、蹴られた後から痛みが酷くなった。	34	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html